



3つの柱と
9の政策

ひとりひとりが日本

今、私たち日本は、食料・エネルギー・医療・教育など、暮らしの根幹が揺らぐ大きな転換点に立っています。国を守るとは、誰かに任せることなく、国民一人ひとりが自ら考え、行動すること。「ひとりひとりが日本」その自覚こそが、日本の未来を切り拓く力になります。 **日本はまだ間に合う。**

1 日本人を豊かにする
の柱 ～経済・産業・移民～

2 日本人を守り抜く
の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

3 日本人を育む
の柱 ～教育・人づくり・国家観～

1 “集めて配る”より、まず 減税
減税と社会保険料削減で国民負担率を35%に抑え、積極財政により国民が豊かになる経済構造を実現します。

4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め国民を守ります。

7 子ども一人につき 月10万円
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てやすい環境をつくります。

2 日本はまだ間に合う “NO! 移民国家”
労働力不足を安易な移民依存に委ねず適正な人口計画をたて、外国人労働者の受入れと土地取得を制限します。

5 エネルギーと資源確保が 生命線
諸外国も見直しをしている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、エネルギーを国内で確保します。

8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、個性や強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

3 現場の人が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善します。

6 安心医療で 健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直し、予防を重視した体制へ転換し、すべての人の健康と安心を支えます。

9 日本はみんなの家
日本の国力は衰え、国際情勢も緊迫しています。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は
参政党
とお書きください。

参政党の政策
こちらの特設
サイトから!



しのとうあい プロフィール

1989年4月生まれ。愛媛県大洲市出身。現役看護師、二児の母。久米小学校、大洲南中学校、帝京第五高等学校看護科・専攻科を卒業。子どもたちに安心して未来を託せる日本を残したいという強い思いから、入党を決意。

参政党
しのとうあい